

第51回獨医祭 実施報告書

獨医祭実行委員会

イベントの概要について

イベントの名称	第51回獨医祭
テーマ	0→1 ～医学への新しい一歩～
医学テーマ	日常における多職種連携
開催日時	2024年10月12日(土)～14日(月)
開催場所	獨協医科大学医学部・看護学部・附属看護専門学校



実施内容

ドクヘリ見学会

1. イベント詳細

日時：2024年10月12日(土)9:00～11:50

内容：学生、一般来場者が救命救急の一端を担うドクターヘリを見学し、救急医療の技術と今に触れる。

2. 来場者の声/SNSでの反響

来場者からは「普段見ることのないドクヘリの様子を近くで見ることができて嬉しいです」「操縦士の方から直接お話を聞く機会が貴重です」「疑問に思ったことを聞く機会もあり、ドクターヘリについての理解を深めることができた」「子どもと今年は必ず参加しようねと話していたので、来られて良かったです」などの声をいただきました。

3.総括

今回の「ドクヘリ見学会」は、ドクターヘリを近くで見ることで機体や機能について詳しく知る良い機会となりました。来場者の満足度は大変高く、来年も是非来たいとおっしゃる方もいらっしゃいました。地元の方だけでなく、県外から来られた方にも満足していただけるよう、来年以降も引き続き努力していきたいと思います。



狂言ワークショップ(野村万之丞)

1. イベント詳細

日時：2024年10月12日（土） 11:00～12:00

内容：野村万之丞様をお呼びし、狂言のワークショップを開催しました。実演を交えた狂言の説明、面や装束などを見せでの説明、その場で声を出すような体験と質疑応答、公演後の物販を行い、狂言に興味のある方だけでなく、狂言との接点がなくあまり知らないという方にも来場していただきました。

2. 来場者の声／SNSでの反響

来場者からは「声を出す体験が楽しかった」「狂言について知ることができて面白かった」などといった声が寄せられました。

3. 総括

今回の「狂言ワークショップ」は、若者世代や地域の方々に狂言という古くから伝わる文化を広める良い機会となりました。来場者の満足度も高く、歴史あるものを多くの人に伝承するイベントとして成功を収めました。次回のイベントに向けては、広報活動の強化が求められます。地域の方々との交流を深めるために引き続き努力してきたいと思います。

アイドルライブ(可憐なアイボリー)

1. イベント詳細

日時：2024年10月12日(土)16：00～16：30

内容：去年出演していただいた「高嶺のなでしこ」と同じ事務所の「可憐なアイボリー」に出演していただきました。地域の人々とアイドルライブを通して交流を深める貴重な機会となりました。参加費が無料ということもあり多くの一般の方が来場されていました。また、ライブ後の特典会でも多くの方が参加しとても賑わっていました。

2. 来場者の声／SNSでの反響

「アイドルライブがとても楽しかった。」や「今後もアイドルライブを続けてください。」など前向きな意見を多くいただくことができました。SNSでは、特典会のアイドルとの写真と「獨医祭」を一緒にあげている投稿を見かけ、多くの人に獨医祭を知ってもらえる機会になったと考えられます。

3. 総括

去年は声出しが禁止となっていましたでしたが、今年は声出しが解禁となり観客全体が一体となり例年以上に盛り上がりました。次回アイドルライブの課題としてより多くの地域の方のに参加していただけるように広報を強化していきたいです。

お笑いライブ(素敵じゃないか、ネイチャーバーガー、オダウエダ)

1. イベント詳細

日時：2024年10月12日（土） 17:30～18:00

内容：吉本芸人3組（素敵じゃないか、ネイチャーバーガー、オダウエダ）によるお笑いライブが開催されました。ファンの方や学生、地域の方々など多くの方に来場していただきました。会場を巻き込んだお笑いで賑わいました。

2. 来場者の声／SNSでの反響

来場者からは「お笑いライブに初めて来たが面白かった」「地元に芸人さんたちが来てくれてうれしい」「無料で見れてうれしい」といった声が寄せられました。

3. 総括

今回の「お笑いライブ」は地域の方との交流をする良い機会となりました。来場者の満足度も高く、地域の方たちを笑顔にするイベントとして成功を収めました。次回のイベントに向けては、さらなる内容の充実化と広報活動の強化が求められます。獨協医科大学の魅力を発信し続けるために、引き続き努力してきたいと思います。



花火

1. イベント詳細

日時：2024年10月12日(土)19:00～19:15

内容：1日目のメインイベントとして「花火」が行われました。学内の方だけでなく、近隣にお住みの方々や地域の方々も、グラウンドから打ち上げられる花火を見ることができます。獨医祭1日目のメインイベントということもあり、花火の時間が近づくと学内にいた人たちも一斉にグラウンドに集まり、多くの人で賑わいました。

2. 総括

獨医祭というと「季節外れの花火」を想像される方が多いと思います。今回も、おもちゃのまちトキワ屋（壬生町）のご協力のもと心にくる花火を打ち上げることができました。今回は、学生をはじめ、獨協医科大学病院にご入院の方、地域の皆様、獨協医科大学関係者の皆様にご覧頂くことができ、終了時には盛大な拍手を頂く事ができました。



医学講演

1. イベント詳細

日時：2024年10月13日(日)、14日(月)10:00～11:00

内容：13日には「新しい医療と多職種連携～遺伝医療を支えるチームプレー～」をテーマにそれぞれ医師の小飼貴彦教授、看護師の須坂洋子准教授、臨床検査技師の湯石晃一主任に職種ごとの目線で遺伝医療について講演をしていただきました。14日には「救命救急医とドクターヘリ」をテーマに菊池仁先生、「フライトナースのプレホスピタルでの看護実践ー多職種との協働活動ー」をテーマに菱沼秀一先生に講演していただきました。

2. 来場者の声/SNSの声

来場者からは「貴重なお話を聞く事ができました」「普段医師以外の話を聞く機会がありませんので、興味深かったです」「自分の目指す職業に関する講演でお話を聞けて良かったです」「遺伝医療での多職種連携の実際を学ぶ事ができました」「多職種が各職種よりがん治療への取り組み方や仕事の内容が良く分かった」「救命救急の現場を知ることができ、大変勉強になった」「救急志望の友達に聞かせてあげたいくらい面白かった」「フライトナースを目指しているので、とても興味深い講演でした」などの声をいただきました。

3. 総括

今回の「医学講演」は普段聞く機会のない医療の話をお願いいただく良い機会となりました。また、目指している職種の方の話を聞く機会としての一面もあり、幅広い年代の方に満足していただくことができました。次回の医学講演に向けて、今年の良かった点や反省点を生かして引き続き努力していきます。



アーティストライブ(wacci LIVE at 獨医祭)

1. イベント詳細

日時：2024年10月13日(日)16:30～17:30

内容：今年の医学テーマである「他職種連携」とメンバー全員がさまざまな背景を持っているという点でつながりを感じたため、今年は「wacci」に来ていただきました。チケットは有料でしたが、多くの方がいらっしゃって観客全員でアーティストライブを楽しみました。

2. 来場者の声／SNSでの反響

「wacci Live最高だった」や「今後もアーティストライブを続けて欲しい」などの前向きな意見をアンケートを通してたくさんいただきました。また、SNSでは「wacci Live」を通して多くの方が獨医祭の雰囲気などを投稿してくださりました。

3. 総括

今年は制限のない中で開催することができ、アーティストライブを例年以上に楽しんでもらうことができましたと考えます。次回に向けた課題として、SNSを活用してより多くの方に知ってもらい、来場者を増やしていきたいです。



中庭飲食企画（出店）

1. イベント詳細

日時：2024年10月12日(土)15:00～19:00、13日(日)10:00～19:00、14日(月) 10:00～14:30

内容：6年ぶりに学生による出店が開かれました。各出店は人気を博し、閉店を待たずして売り切れる店舗もありました。地域の皆様から買っていただくこともあり、交流の場として賑わいました。

2. 来場者の声

来場者からは美味しかったと言っていたことが多く、実際食べ残しもほぼなく、フードロスに貢献しました。また、学祭はこうあって欲しいと言うような出店の復活を喜ぶ声も多く聞きました。

3. 総括

今回の飲食企画は、地域の方々との交流を深め、学祭に足を運んでいただくきっかけになりました。学生も去年より学祭に参加する人数が増え、活気溢れる中庭を作り出しました。次回に向けては、参加企画が増え、さらに盛り上がりを見せられるよう、引き続き邁進していきたく思います。



縁日

1. イベント詳細

日時：2024年10月12日(土)、13日(日)、14日(月) 終日

内容：縁日では、スーパーボールすくい、ヨーヨー釣り、スライム作りを無料で体験できるように開きました。3日間を通して未就学児から高齢者の方まで多くのお客様で賑わいました。

2. 来場者の声

来場者からは「子どもたちが楽しそうよかった」「家族で楽しむことができた」「子どもの頃を思い出した」といった声が寄せられました。

3. 総括

今回の縁日は新企画でしたが、お子様をはじめ多くの方々が来てくださり大盛況となりました。来場者の満足度も高く、学生とお客様が楽しく交流を深めることができました。来年以降に向けて、さらなる内容の充実やスタッフの人員確保、地域に向けた広報活動の強化に努めていきたいと思います。



看護企画

1. イベント詳細

日時：2024年10月12日(土)、13日（日）10:00～15:00

内容：看護学部と看護専門学校の合同で看護企画を企画・運営しました。手浴、手洗い体験、相談会、ミニゲーム、看護展示を実施し、様々な年代の方にご来場いただきました。

2. 来場者の声／SNSでの反響

来場者からは「手浴体験ではリラックスできた」「ミニゲームは子どもが楽しんでいたよかったです」「看護学部、看護学校の雰囲気がよく分かりました」といった声が寄せられました。

3. 総括

今回の看護企画では、看護学部と看護専門学校の様子を地域の方々に知っていただける良い機会となりました。次回のイベントに向けては、さらなる内容の充実や広報活動の強化が求められます。看護学部、看護専門学校と地域の方々との繋がりを深めるために、振り返りを行い、来年度の企画・運営に活かせるようにしていきたいです。



獨医祭ライブ(軽音楽部)

1. イベント詳細

日時：2024年10月12日(土)、13日（日） 9:00～17:00

内容：軽音楽部の部員が各自バンドを組み、来場者にお披露目をしました。

2. 来場者の声／SNSでの反響

来場者の中には、毎年このようなパフォーマンスを楽しみにして来ていただいたり、初めて来場していただいた方には、バンドの雰囲気を楽しんでいただけました。

3. 総括

毎年行われている軽音楽部のライブですが、今年度も友人の活躍を応援するために来場したり、盛り上がる雰囲気を楽しむために来場したりと、学生やそれ以外の方々にとっても思い出に残るようなステージでした。



文化部展示

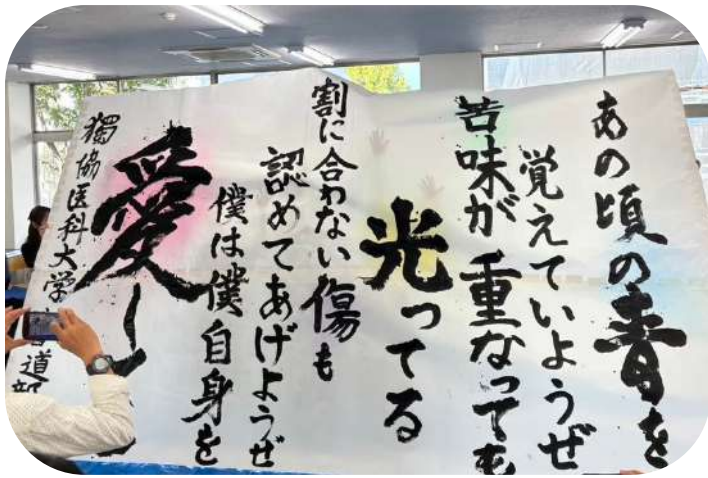
1. イベント詳細

日時：2024年10月12日(土)、13日(日)、14日(月)

内容：書道部、美術部、ME部の作品展示、合唱部・管弦学部の合同演奏会、書道パフォーマンスを行いました。作品展示は、学生の自由な想像力と表現力が多くの人に感銘を与えました。合唱部・管弦学部の合同演奏会では、学生や大学関係者をはじめとした多くの観客で席を埋め、多くの観客に感動を与えました。書道パフォーマンスでは、音楽に合わせて歌詞を大きな紙に書き、迫力満点パフォーマンスを披露しました。コロナ禍後で久々の企画でしたが、観客を元気づけ、とても良い企画となりました。

2. 総括

今回の文化部展示は、学生の想像力と表現力が地域の方々をはじめ多くの人に勇気と元気を与えました。来年に向けて、さらなる内容の充実や参加部の拡大、広報活動の強化に努めていきたいと思います。



後夜祭(学内企画)

1. イベント詳細

日時：2024年10月14日（月）15：30～19：00

内容：各団体の学生が一丸となってさまざまな余興をして、会場を盛り上げていました。各団体の応援も大勢駆けつけ、大学全体の団結力が高まりました。

2. 来場者の声／SNSでの反響

来場者からは、「部活の後輩が活躍している姿を見ることができて嬉しい」など多くの声が寄せられていました。SNSでは出場者、観客関係なく様々な投稿がありました。

3. 総括

今回の後夜祭では、学生全体の団結をより強くするとともに獨医祭の最後を締めくくる良いステージとなりました。今後も、後夜祭をより良い企画にするために、努力していきたいと思います。



その他

医学・看護展示、入試相談会、バザー、看護専門学校案内ツアー、Konomiさんパン販売、管弦・合唱部演奏会



おわりに

この度は、獨医祭を開催するにあたり、温かいご支援をいただき、誠にありがとうございました。おかげさまで、無事に獨医祭を終えることができました。今年は中庭の露店が開催され、多くの方々が来場し賑わいました。また、縁日など終日参加できる新企画により、企画が無い時間を減らすことができました。これも皆様のお力添えの結果だと、感謝の気持ちでいっぱいです。

次年度へ向けた改善策として、終日参加できる企画や校内装飾を増やすことや、チラシやポスターに載せる情報を充実させることが委員から挙げられました。

今年は各所でご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございませんでした。来年以降は、このようなことが再び起こらぬよう、委員一同改善に努めます。

改めてまして、ご支援に深く感謝するとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。